

## 2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月2日作成)

小委員会名	防水材料の長期耐久性小委員会	主査名：竹本 喜昭 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：野口 貴文 主査名：竹本 喜昭
設置期間	2023年4月 ～ 2027年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>当小委員会は、各種防水材料の長期屋外暴露試験を2002年から継続して実施しており、2022年には、暴露開始から20年目の試験体の状況観察、一部試験体は劣化データ収集と分析を行った。2023年以降は、小片による長期暴露試験データ取得を基にして検討を進め、各種防水材料の新たな長期耐久性評価方法を提案することを目的とする。</p> <p>初年度：20年屋外暴露試験体の観察と小片による劣化診断。防水シンポジウムでの報告。</p> <p>2年度：屋外暴露試験体の観察と小片による劣化診断。</p> <p>3年度：屋外暴露試験体の観察と小片による劣化診断。</p> <p>4年度：現状の耐久性評価方法における試験条件、試験時間など再検討。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：竹本喜昭(清水建設) 幹事：田中秀斉(田島ルーフィング) 委員：大西正人(積水ハウス)、古賀純子(芝浦工業大学)、澤井正晴(ジャパンコンポジット)、清水祐介(シーカ・ジャパン)、志村重顕(建材試験センター)、添田智美(フジタ)、塚越雅幸(福岡大学)、中山俊昭(シーカ・ジャパン)、松村宇(北海道立総合研究機構)、宮内博之(建築研究所)、山部亮一(アーキヤマデ)、横堀龍司(日新工業)	
設置WG (WG名：目的)		
2023年度予算	250,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	第12回防水シンポジウム「建築防水分野における新たな取り組み」 参加者数 111名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 20年目の屋外試験体について国内3か所で観察や小片の劣化分析を行い、結果をまとめて第12回防水シンポジウムで報告した。 2. 30年目までの屋外暴露試験体を維持し、定期的な物性値の取得および建築学会大会での発表を継続している。
委員会活動の問題点・課題	1. 試験体の長期にわたる保管、屋外暴露場のコスト確保、物性試験の費用など。 2. 参加委員のモチベーション維持。実験継続意義の相互理解。